

仲間がいるから、
けんかする。
仲間がいるから、
笑顔広がる。



「知への初々しい憧れと畏敬の念」

～子どもの学びを支える教師力・学校力の強化～

校長通信第91号 令和3年11月16日

道徳授業地区公開講座

11月13日（土）に、本講座を開催しました。各学級では、別紙のと通りの時程で道徳科の授業を行いました。保護者の方が実際に教室で参観すること自体がはじめとなる若手の教員もいました。すごく緊張したと思いますが、ベテランの教員と同じようによくできたと思いました。

2校時は、第6学年の授業公開（体育館）を保護者の公開講座としました。思った以上に、体育館に保護者の方がいらしていただけたと感じました。当日は、地域教育連絡協議会も開催したため、委員の皆様にも参観していただきました。

○演題；「違う みんな 違う ゆめ おんなじ 大きなみらい」

○講師；明星大学教育学部教育学科 特任教授 樋口 豊隆 先生



いただいたお話は、第6学年へエール、人と支え合う、「ともに」生きることの大切さ。その他たくさんのお言葉をいただきましたが、印象的だったことを中心に記します。

・夢 叶わないかもしれない。でも、嫌いにならなければ、好きでいれば、何かに出会える。
中学生の頃の夢の形は違っていても。

「どうせ無理」・・・やらない前から決め付けない！

やらない後悔から学べることはない。でも、やった失敗からは学ぶことがある

・夢・・・探そう！ 希望につながる 勉強 受験 部活動・・・悩みはたくさん！

仲間 友達・・・あなたを見ている人は必ずいる。

悩んでるときこそ！→心と体が大きく成長しているとき！

「私は、僕は」 主語で語ろう！考えよう！自分に問いかけよう！

・（私は）みんなと生きている。（人間は）みんな生きている。（生物は）みんな生きている。
意味がわかること→意味が読み取れるのが人間の力。

講座の終わりには、6年生からのお礼の言葉。原稿を見ず生の気持ちを表現してくれました。

「ありがとう」の言葉の大切さを実感したそうです。

会後は、地域教育連絡協議会に参加していただき、委員の皆様からは次年度の6年生にも同じ話をしてほしいと要望がありました。校長室でも、第6学年の先生に応援エールを贈っていただきました。樋口先生、誠に「ありがとう」ございました。